



# 運営委員会だより

## 大宮小学校 P T A

◆ 第3回 ◆

開催日 平成28年 9月12日

発行日 平成28年 9月16日

### ◆ PTA会長あいさつ

平山 健介 会長

楽しかった夏休みも終わり2学期が始まりました。2学期も色々な行事がありますが、まずはなんといっても運動会です。保護者の皆様にはPTA競技の大玉おくりの積極的な参加をお願いしたいと思います。また子ども達の練習の成果を、フィルターを通してだけでなく、肉眼でしっかりとみてあげてください。現場で「熱」や「空気」を感じてください。子ども達にも伝わるはずです。

また9月24日～12月11日にかけてさいたま市では国際芸術祭である「トリエンナーレさいたま」が開催されます。大宮小学校も開催会場となっております。11月26、27日には、朝ドラ「あまちゃん」の作曲家、大友良英氏が音楽や映像のワークショップと参加型音楽イベントを開催します。入場無料ですので是非、ご参加ください。

### ◆ 校長あいさつ

西川 和利 校長

「ずいぶん背が伸びたね。」「ありがとうございます。」「お母さんを抜かしたんじゃない?」「はい」朝の登校時の児童と私の会話です。夏休みを終えた子どもたちを見ると、身長がぐんと伸びた子が目立ちます。身長だけでなく顔つきにも成長が認められます。夏休みの豊かな体験がいろいろな意味で子どもたちの成長にプラスになっています。運動会や校内音楽会など多くの学校行事を通して、子どもたちの心も鍛え、たくましく成長する2学期にしたいと思います。その2学期、台風とともに始まり2週間が経ちました。台風対応のお知らせを毎週出すようになるとは思いませんでしたが、幸い今のところ大きな影響もなく安堵しているところです。一方、北海道や東北では甚大な被害が発生し心配です。台風シーズンはしばらく続きますので、今後も十分注意しながら対応していきたいと思います。ところで、10月25日に、市内外から参観者を招き、研究発表会を開催します。PTA役員の皆様にもご協力をお願いすることになりますが、どうぞよろしく願いいたします。また、この研究発表会では、「自分から進んで」をテーマにシンポジウムと講演会も開催します。シンポジウムには、地域代表、PTA代表の方々にも入っていただきます。シンポジウムと講演会は皆様に公開としますのでぜひご参加ください。詳細は、後日お知らせします。今学期もご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

# ＊ ＊ 議 事 ＊ ＊

## ◇運動会のお願い

今年度も前日の場所取りはしないでください。運動会当日も深夜ではなく、明るくなつてからの場所取りをお願いします。ただし、トラブルを避けるため、風などでシートがめくれたりしないようにご配慮願います。あまりにも守れない場合は、

- ・レジャーシート禁止
- ・昼食は児童と保護者は別々にとる
- ・限られた範囲での観覧

などの制限が出る可能性があります。

P T A種目(大玉送り)へのご協力をお願いします。人数や出欠の確認は致しません。校庭にいらっしゃる大人の方全員が対象となりますので、保護者以外の方もどうぞご参加ください。

## ◇広報部より、運動会の撮影についてのお願い

当日、広報部員が腕章を左腕に付けて、競技の妨げにならないように配慮しながら撮影に入りますので、皆様、ご協力ご理解を宜しくお願い致します。

## ◇地域の行事

10/9(日)中部地区運動会

### 《活動報告・各学年》

《6年》「卒業を祝う会」の件ですが、集計の結果、今年は開催を見送ることになりました。

《5年》特になし

《4年》特になし

《3年》特になし

《2年》6/9(木)町探検のお手伝いの保護者参加。

次回、鉄道博物館への付き添いボランティア募集予定。

《1年》特になし

《みやのこ》特になし

## 《 活動報告 》

### 本 部

- 6/29 学校保健委員会
- 7/4 地区PTA大宮小懇談会
- 7/6 青少年健全育成研修会
- 7/12 アルミ缶業者引渡し
- 7/13 三校連絡協議会準備
- 7/14 大宮区連合会第1回会長・校長会
- 7/28 大宮区連合会第2回役員会
- 8/20 大宮小清掃活動(雨天の為中止)
  - ” 第3回中部地区学校体育施設開放運営委員会
  - ” パパスクラブ夏のイベント
- 8/24 いじめ防止シンポジウム

### 総 務 部

- 6/27 部会
- 6/29 学校保健委員会参加
- 8/23 いじめ防止シンポジウム

### 文化安全指導部

- 6/29 第1回学校保健委員会  
当日準備、議事録作成
- 7/4 地区・PTA・大宮小学校 合同地区懇談会  
事前準備、当日準備、議事録作成
- 9/8 さいたま市交通安全保護者の会  
大宮支部会議 2名参加
- 1学期～夏休み カーテン洗濯  
皆様、ご協力ありがとうございました。

### 広 報 部

- 1学期 あおぎり323号(7/19発行)部会1回  
あおぎり発行準備、印刷会社打合わせ等 全10回
- 9/5 撮影、運動会撮影打合せ 部会1回

## 祭りの宝庫 埼玉県

第5学年1組 担任 松本 繁美

8月1日大宮の夏祭りの日、勅使の行列を見学するために地域コーディネーターの島田さん、みやのこ担任の森泉教諭の三人で三の鳥居の手前、勅使斎館に向かいました。大宮小に赴任した際には、これは必ず見学しようとしておりました。

大宮の夏祭りは、二週間前くらいから中央通りに提灯が灯り、一週間前には直線距離では日本一の参道に提灯が灯ります。日が暮れてくるときれいなものです。各町ではテントが立てられ祭りの準備が始まります。また、学校の体育館からは、太鼓や鐘・笛のお囃子、エイサー、阿波踊りの軽快なリズムが聞こえてきます。祭り好きな私にとっては、何とも言えないワクワク感がしてまいります。そして、前日には、参道の車道と歩道を分けるポールが外され、勅使の車を迎えます。

さて、人混みを避け、脇参道を歩いて勅使斎館の前、参道脇の少し高くなっているところに立ち、勅使が現れるのをひたすら待ちます。と、目の前を各町の特徴的な神輿や山車が威勢よく担がれ引っ張られ境内に入っていきます。子ども神輿もあります。よく見ると自分のクラスの子が提灯を付けた長い竹竿を斜めに持って神輿を先導しています。横にはお母さんが見守っています。またある子はハンドマイクをもって「わっしょい わっしょい」と声をからして掛け声をかけています。またある子は顔を真っ赤にして神輿を威勢よく担いでいます。「みんな活躍して、地域の伝統を守っているなあ。」うれしい限りです。

いよいよ神輿や山車が境内に収まりますと、勅使斎館の周りに人が集まり始め、警備の人が動き始めます。周りがざわつき始め一瞬ですが静まります。そこで「待ってました。」烏帽子を被り正装した勅使が斎館を出てきました。そして行列を作り氷川本殿に向かって歩き始めます。目の前を通り過ぎる1～2分の間です。何とも言えない気持ちになります。明治元年から続いているのでしょうか。もう約150年間続けられてきています。勅使を迎えて本殿では、氏子衆参列の中、儀式が執り行われます。境内では粋な法被姿の各町の役員、担ぎ手の皆さんでいっぱいです。腹ごしらえをしていよいよ始まります。

この瞬間が何ともたまらない時間、空間となります。

武蔵国一宮氷川神社には、年祭事が数々あります。大湯祭（十日市）、節分、鎮花祭など子どもたちが喜ぶお祭りが盛りだくさんです。大湯祭は、色とりどりのきらびやかな熊手が市に立ちます。節分などは赤鬼と珍しい緑の鬼が現れてお菓子の入った袋を沢山投げてくれます。鎮花祭では、髪飾りをつけきれいな着物の衣装を身に着けたお子様が本殿の舞台で舞を見せてくれます。子どもたちにはぜひ見てもらいたいです。

埼玉県には、大宮の夏祭りのような例大祭が二百を超え、各町村の昔から受け継がれている祭りを含めると千を超え、まさに「祭りの宝庫 埼玉県」であります。何か特徴的なものがなく埼玉県は何もないと、県出のタレントがネタで笑わせておりますが、そんなことはありません。埼玉県の各地域には普段は目に見える形ではないけれど、年に一回、目に見える形の「祭り」があります。伝統ある無形文化財が昔から脈々と受け継がれ、各地域競い合うがごとく特色あるお祭りが盛り沢山に存在するのです。祭りを楽しみ、祭りを通して、人の和を知り、子どもは大人に、大人は紳士、淑女にさせてくれているのです。

最後に、私の生まれ故郷の話をいたします。私の生まれは、秩父上吉田であります。

「祭りの宝庫 埼玉県」のさらに濃密なところ、祭りが生活の一部となっているところでございます。

まずは秋祭り 10月9日「秩父吉田の龍勢祭り」（農民ロケット）、NASAの300年前よ

り宇宙に向かってロケットを打ち上げておりました。戦国時代の狼煙が始まりと言われてい  
ます。続いて全国的に有名な12月3日の「秩父夜祭り」クライマックスは10tもの山車  
が勇壮な太鼓の音の中、傾斜30度の坂をミシミシと言わせながら上っていきます。夜空に  
はスターマインやナイアガラなど冬の花火が大輪を咲かせています。この間、各町村地域で  
のお祭りが行われ、花火の音が聞こえない日はありません。毎日どこかでお祭りです。夜祭  
りが終わるとひと段落、これで今年の締めくくり・・・とと思っていますと最後の最後12月  
10日「八幡神社の鉄砲祭り」がございませう。境内を挟んで40丁の鉄砲が1～2m程の砲  
火を放す間を神馬が神社の階段を駆け上がります。こちらも勇壮なものです。途中、歌舞伎  
が上演されたり、古式にのっとり江戸時代の参勤交代が披露されたりしています。秩父だけ  
で大小合わせると300～400のお祭りが行われています。

祭りは、人を育て、地域の連携を深め文化の継承をしています。埼玉県民は祭りという無  
形文化財を守り発展させて、親から子へ、子から孫へと脈々と受継いでいるのです。

